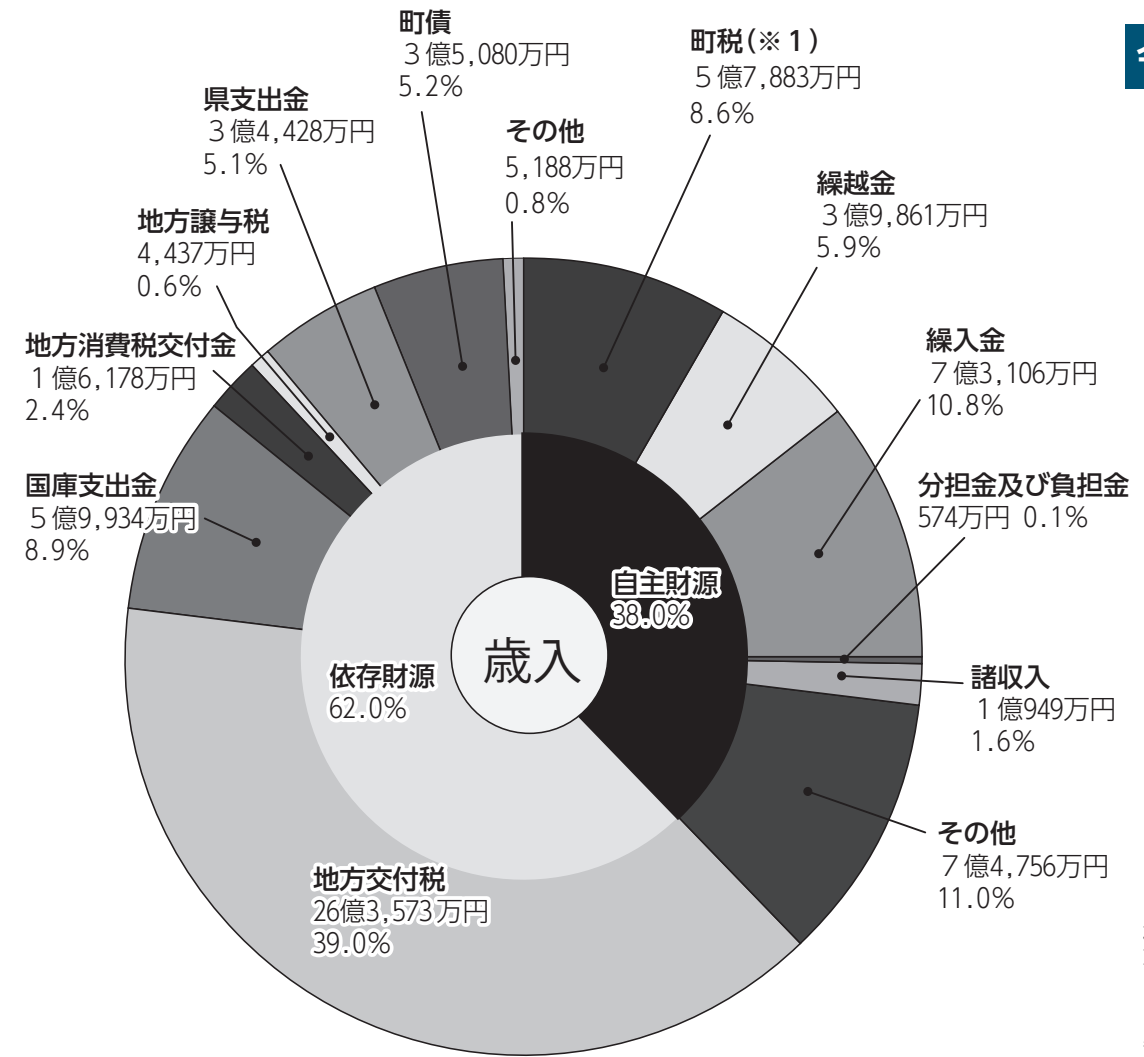


決算報告

町議会9月定例会で令和6年度の大石田町決算が承認されました。町の予算は、町民の皆さんが納めた税金をはじめ、国や県からの補助金や地方交付税などで構成されています。財源の内訳や町に入ってきたお金がどのように使われたのか、一般会計を中心に概要をお知らせします。



一般会計歳入総額

67億5,947万円

(※1) 町民税 2億2,344万円、固定資産税 2億9,486万円、軽自動車税 3,032万円、市町村たばこ税 211万円、鉾産税 31万円、入湯税 1,079万円、都市計画税 1,700万円

令和6年度歳入歳出決算額及び対前年度比較表

(単位：千円、%)

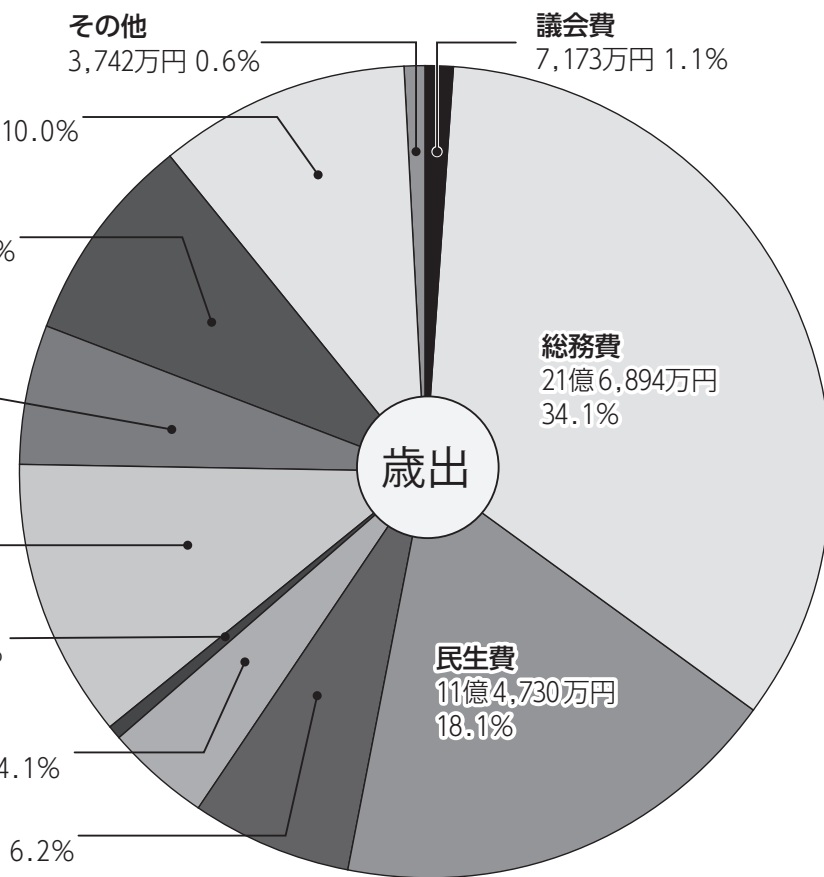
区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳 入		歳 出	
				前年度比較	増減率	前年度比較	増減率
一 般 会 計		6,759,470	6,354,871	447,261	7.1	441,279	7.5
特別会計	国民健康保険	817,592	721,487	△40,070	△4.7	△42,874	△5.6
	介護保険	948,886	871,846	△13,344	△1.4	△16,446	△1.9
	後期高齢者医療	122,617	120,784	5,997	5.1	5,800	5.0
一般会計＋特別会計		8,648,565	8,068,988	399,844	4.8	387,759	5.0

物価高の影響を受けるも、大型事業の着手により、歳入歳出ともに増加

大石田町の一般会計の決算は、歳入総額が67億5千947万円、歳出総額は63億5千487万円となり、前年度に比べ歳入は4億4千726万、7・1%の増、歳出は4億4千128万、7・5%の増となりました。

歳入が増となった主な要因としては、給与改定等による人件費の増、統合小学校整備事業や消防設備整備負担金などによる普通建設事業費の増、物価高騰対応重点支援事業「おいしだエール券発行事業」などによる補助費等の増などによるものです。

歳入が増となった要因は、国の施策である定額減税の影響により、町税全体では減となった一方で、特別交付税を含めた地方交付税は増となり、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの国庫支出金の増などによるものです。



一般会計歳出総額

63億5,487万円

財政指標等でみる町の財政状況

財政力指数

令和6年度 0.216
令和5年度 0.218

財政力指数

標準的な行政サービスを提供する経費のうち、町が自前で調達できる財源（町税や使用料等）がどのくらいを表した数値。1に近いほど自前で資金を調達でき、財源に余裕があるということを示しています。

大石田町では財源の約22%を自前で調達し、残りを国や県に依存していることを表しています。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため比率がありません。また、簡易水道事業会計、農業集落排水事業会計の資金不足額はありません。

実質公債費比率

令和6年度 10.7%
令和5年度 11.0%

実質公債費比率

町の財政規模に対して、公債費（借金返済額）に相当するものなどがどれくらいの割合なのかを示す比率です。25.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

将来負担比率

令和6年度 2.4%
令和5年度 17.3%

将来負担比率

町の財政規模に対して町が将来支払っていく負担等を表す比率です。350.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。